



心とやすらぎをまちへ広げるプロジェクト

にんじんサポートネットワーク / 申請金額：30万円

障害者雇用と健康的な有機野菜で地域貢献をしたい

石神井公園駅の近くにあるカフェ「野菜カフェにんじん」は、安全な食品にこだわって、心のやすらぎと身体の健康をテーマに活動をはじめた。また主に障害のある方の雇用を行っている。有機野菜を通じて学習会(交流会) 堅苦しくない場としての交流の場、情報ネットワークの拠点を狙っている。

健康をテーマにした拠点作りとして検討するための調

査をしたいので、この助成に応募した。障害のある方への働きかけと同時に、人々の健康に対する意識を高めたり、地域周辺の商店街の活性化につなげていきたい。

Q まちとの関連を視点に置いて、孤立せずに商店街の中で発展していくようにしてもらいたい。

A いろいろな方に声をかけている中で、今回の応募に至った。地域とのつながりをテーマにしてやっていきたい。

モビリティマネージャーの養成

NPO 法人移動支援フォーラム / 申請金額：30万円

ワンストップで移動に関する情報を得られるように

「いつでもどこでも希望の場所へいける」といった、当然の権利を守るため、移動困難者が最初に相談すれば、ワンストップで必要なサービスにつなげていける人を養成したい。すべての情報を知っておく必要はなく、障害者に対して移動という部分を支援できるモビリティマネージャーの仕組みを提案したい。



Q ワンストップは必要だと思うが、視覚障害や知的障害など必要な福祉サービスに違いがあるが、そのようなものについても紹介してもらえるのか。

A 最初の段階では、「病院と併設している介護支援センター等で話が聞けます」というような情報が流せると思う。また一つの団体につなぐとそこから様々なネットワークへと生活・活動を広げられると期待してもらえるようにしていきたい。

桜台らくらくマップ

アイエヌエイ 桜台チーム / 申請金額：30万円

自分の持っている技術を活かして地域に貢献したい

コンピューター関係の仕事をしているので、自分の技術で地域にできることはないかと考えている。まずは自分の住んでいる桜台の施設や場所などの情報が載っているマップをウェブで公開し、みんなに見てもらえるようにしたい。その後、地域を拡げていきたい。

写真を使って、わかりやすいマップをつくる

病院・郵便局・公共施設・バス停などの施設や危険な

場所などの情報を写真とともに紹介することで地図を読めない人にもわかりやすい情報が提供できる。また、楽しい情報も掲載していきたい。インターネットなので、多くの人が見ることができ、意見を言うことができる。

Q 障害のある方との関わりはどのように考えているのか?

A 例えば、危険な場所の情報は、意見を言ってもらって、反映させていきたい。写真の情報については、いずれは視覚障害者向けに音声を使ったメール配信などを考えていきたい。

身近な暮らしの安心・役立ち情報「宅配」プロジェクト

NPO 法人点訳・音声訳集団 一步の会 / 申請金額：30万円

音声訳で正しい消費者情報を

練馬区消費者だより「ぷりずむ」の音声訳について助成を受けて行いたい。一般の消費者にとっても有益な情報が多く掲載されているため、視覚障害者に正しい知識や情報を提供し、障害者が不利な立場に置かれなように支援するための提案をしたい。

Q なぜ「ぷりずむ」なのか。調査などはおこなったのか。

A 一番身近に感じられる情報だという認識がある。数人の親しい友人にはヒアリングしたが調査方法などは充分ではなかったかもしれない。

Q このような音声訳のPRをどの程度おこなっているのか。

A 社会福祉協議会のニュースや地域のミニコミ紙などには掲載しているが、なかなか周知されない。

地域寄席「北町亭」

練馬北町で寄席を楽しむ会 / 申請金額：25万円

北町地区で地域寄席を

北町地区の商店会のホールや地区区民館などにおいて、数年前から地域寄席をしている。寄席には、地元出身の噺家さんなどが出演している。落語だけでなく、マジックなどの曲芸もあり、誰もが楽しめるようになっている。

誰もが普段着で生の芸を見れるようにしたい

お年寄りや障害者の方が電車やバスに乗らなくても、地元で楽しむことができるようにしたい。特別な施設が

いらないので作業所などから依頼があれば、芸人さんをつれて駆けつけることができる。そして寄席の場が、地域の施設の人と地域住民のふれあいの場になってほしい。

Q 提案グループの実施体制はどうなっているのか?

A 寄席の要望があれば、芸人さんとのつながりをするのが役割なので、実施体制の問題はない。

ひとやみコーナー

練馬区 福祉のまちづくり総合計画 12の基本方針

福祉のまちづくり総合計画では、「ずっと住みたいやさしいまち」を実現するため、12の基本方針を掲げています。

1 道路	歩きやすい歩きたくなる道づくり	4 自転車	人と自転車が共存し、仲良くできるまちづくり	7 づくりまち	建物や施設のつなぐりに配慮してまち全体をバリアフリーに	10 買物	みんながうれしい商店街でハートフルなおもてなし
2 公園	また来たくなる楽しめる公園づくり	5 整備物の	行きやすい、入りやすい、使いやすい建物や施設づくり	8 交流・学習	出会って交流、学んで行動、「気づき」で変える	11 安心	いざというときにも安全安心。ふれあいのまち
3 駅	駅はまちの中心 駅からはじまる福祉のまちづくり	6 管理物の	建物を活かす総合的な運用やサービスの提供	9 情報	手に入れやすく、分かりやすく、使いやすい情報の輪	12 身近な外出	気楽にお出かけ。行きたいところへ行きたいときに

福祉のまちづくりはみなさんが主役です!!

